

平成29年度 日本女子体育大学「教員免許状更新講習」募集要項

【開講日程】 平成29年8月3日（木）～8月8日（火）

〔必修領域〕 8月7日（月）

〔選択必修領域〕 8月8日（火）

〔選択領域〕 8月3日（木）～5日（土） 3日間（選択A、選択Bともに3日間受講）

※台風等により開講できなかった場合の予備日：8月9日（水）・10日（木）

※1つ又は2つの領域のみの受講も可能。

【受講対象者】

（1）平成30年3月31日に教員免許状更新講習修了確認期限を迎えられる方。

- ・昭和57年4月2日～昭和58年4月1日生まれの方
- ・昭和47年4月2日～昭和48年4月1日生まれの方
- ・昭和37年4月2日～昭和38年4月1日生まれの方

（2）平成31年3月31日に教員免許状更新講習修了確認期限を迎えられる方。

- ・昭和58年4月2日～昭和59年4月1日生まれの方
- ・昭和48年4月2日～昭和49年4月1日生まれの方
- ・昭和38年4月2日～昭和39年4月1日生まれの方

※文部科学省HPで修了確認期限をご確認ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index1.htm

〔必修領域〕 主に中学校・高等学校の教諭（教科を問わず、男性・女性ともに受講可）

〔選択必修領域〕 主に中学校・高等学校の教諭（教科を問わず、男性・女性ともに受講可）

〔選択領域〕 中学校・高等学校の教諭（保健体育科、男性・女性ともに受講可）

※障がいを持つ方への用意はできておりません。

【募集定員】

〔必修領域〕 定員60名 ※先着順

〔選択必修領域〕 定員60名 ※先着順

〔選択領域〕 定員40名 ※先着順

【会場】 日本女子体育大学 烏山キャンパス http://www.jwcpe.ac.jp/college_info/access

※駐車スペースがありませんので、公共交通機関でお越しください。

※校内は全面禁煙になっています。

【受講申込期間】 平成29年5月1日（月）～5月31日（水）必着締切

【申込方法】

（1）本学所定の「受講申込書」（裏面：受講登録票）に必要事項をご記入の上、写真（2枚）と教員免許状のコピーを添えて特定記録郵便または簡易書留にてお送りください。

<送付するもの>

①受講申込書（裏面「受講登録票・事前アンケート」も必ずご記入ください。受講申込書は本学ホームページより指定用紙をダウンロードし、作成してください。なお、両面印刷が難しい場合は、片面印刷クリップ留めでお送りください。）

②教員免許状の両面コピー（お持ちの免許状全てのコピーをお送りください。免許状を紛失された方は「免許状授与証明書」をご提出ください。）

③写真2枚（4×3cm、白黒・カラーいずれも可、1枚は受講申込書に貼付）

<送付先>

〒157-8565 東京都世田谷区北烏山8-19-1

日本女子体育大学 学生支援課 教員免許状更新講習係 宛

(2) 受講者決定：6月上旬

- ①受講申込書をもとに受講資格等を確認した上で、受講者を決定します。
- ②先着順としますので、確認が取れ次第随時郵送にて受講の可否をお伝えします。
- ③6月9日（金）までに郵便が届かない場合は、本学までお問い合わせください。

(3) 受講決定後の手続き

- ①受講決定者には「振込用紙」を送付しますので、6月23日（金）までに受講料をお振り込みください。
- ②受講料の入金を確認できましたら、「受講者証」を送付します。（7月上旬頃）
- ③受講決定後のキャンセルは原則として認められません。やむを得ない事情でキャンセルする場合は、本学（教員免許状更新講習係）までご連絡ください。

【受講料】

〔必修領域〕	6,000円	（教材費・保険料などを含む）
〔選択必修科目〕	6,000円	（教材費・保険料などを含む）
〔選択領域〕	18,000円	（教材費・保険料などを含む）

※返金について

- ①7月7日（金）までにキャンセルの申し出があった場合は全額返金します。7月8日（土）以降のキャンセルは一切返金しません。詳しくは受講が決定した方に別途お知らせします。
- ②本学の都合により講習を中止した場合は全額返金いたします。

【履修認定】

- (1) 履修認定は受講状況と筆記試験など総合的に評価します。
- (2) 履修認定は8月末までに「履修証明書」を送付します。

【その他】

- (1) 提出された受講申込書などに記載されている個人情報、この教員免許状更新講習に関わる業務を行うために利用し、他の目的では利用しません。また、提出された書類は受講の有無に関わらず返却しませんので予めご了承ください。
- (2) 教員免許更新制度に関する詳細は、文部科学省ホームページをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm

- (3) 本学教員免許状更新講習に関する問い合わせ先

〒157-8565 東京都世田谷区北烏山8-19-1

日本女子体育大学 学生支援課 教員免許状更新講習係

電話：03-3300-2257

FAX：03-3300-0174

E-mail：kyoumuka@jwcpe.ac.jp

必修領域（6時間）

○講習名称：教育の最新事情

○講習内容：教育の最新の動向（①国の教育政策や世界の教育の動向、②教員としての子ども観、教育観等についての省察、③子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見、④子どもの生活の変化を踏まえた課題）について、本学教員がそれぞれの専門の立場から解説する。これからの教育のありかたについて、受講者とともに考えていく。

	時間	講 習 科 目	具 体 的 内 容	授業 形態	担 当
8 / 7 (月)	8:30 ～ 8:50	・受付	・受講者確認、資料配付		
	8:50 ～ 9:00	・ガイダンス	・受講上の注意、評価のポイントなど		青木 純一
	9:00 ～ 10:30	・国の教育政策や世界の教育の動向	・国の教育政策 ・世界の教育の動向	講義	青木 純一
	10:40 ～ 12:10	・教員としての子ども観、教育観等 についての省察	・子ども観、教育観等についての省察 ・教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員 に対する社会的要請の強い事柄	講義	山下敬緯子
	13:00 ～ 14:30	・子どもの発達に関する脳科学、心 理学等における最新の知見（特別 支援教育に関するものを含む。）	・子どもの発達に関する脳科学、心理学等の 最新知見に基づく内容 ・特別支援教育に関する新たな課題 (LD、ADHD 等)	講義	井筒 紫乃
	14:40 ～ 16:10	・子どもの生活の変化を踏まえた 課題	・生活習慣の変化を踏まえた生活指導 ・カウンセリングマインドの必要性	講義	酒井久実代
	16:20 ～ 16:50	・修了認定試験	・修了認定試験	試験	青木 純一

〔選択必修領域（6時間）〕

○講習名称：国際理解及び異文化理解教育

○講習内容：国際理解及び異文化理解教育について、本学教員が道德教育、読書教育、子どもの運動遊び、子どもや若者の生活といったそれぞれの専門の立場から解説する。これからの教育のありかたについて、受講者とともに考えていく。

	時間	講 習 科 目	具 体 的 内 容	授業 形態	担 当
8/8 (火)	8:30 ～ 8:50	・受付	・受講者確認、資料配付		
	8:50 ～ 9:00	・ガイダンス	・受講上の注意、評価のポイントなど		瀬川 大
	9:00 ～ 10:30	・日本文化を相対化する	・我々が持つ文化・価値観について、道德教育の点から客観視する作業を行い、本日の講習の出発点とする。	講義	瀬川 大
	10:40 ～ 12:10	・読書教育で育む国際理解・異文化理解	・読書活動等の読書指導の意義や学校図書館の活用の必要性、異文化理解を図るための国際理解教育の現状と課題などについて考える。	講義	稲井 達也
	13:00 ～ 14:30	・子どもの運動遊びからみる異文化理解	・子どもの運動遊びをキーワードに、日本の子どもたちの運動遊びや欧米・アジアの子どもたちの運動遊びを紹介する。実際にその遊びを体験しつつ異文化理解へと結び付けていく。	講義	森田 陽子
	14:40 ～ 16:10	・子どもや若者の生活の国際比較	・日本の子どもや若者の生活を、欧米やアジアのいくつかの国との比較を行うことによって、その特徴を浮き彫りにする。	講義	小堀 哲郎
	16:20 ～ 16:50	・修了認定試験	・修了認定試験	試験	瀬川 大

〔選択領域（18時間）〕

○講習名称：「保健体育授業づくりの理論と実践」

○講習内容：【共通部分】心身を解放し全身でリズムやイメージの世界に没入して踊ることの楽しさを味わう「ダンス」を中心とし、仲間と関わり体を動かす楽しさを味わう「体づくり運動」や良質な保健・体育の授業づくりなどを学ぶ。

【選択部分】授業に役立つ理論または、初心者の「柔道」指導法のどちらかを選択して学ぶ。

1日目・2日目（選択A・B共通）

	時間	講習科目	具体的内容	授業形態	担当
8/3 (木)	8:30 ～ 8:50	・受付	・受講者確認、資料配付		
	8:50 ～ 9:00	・ガイダンス	・受講上の注意、評価のポイントなど		湯澤 芳貴
	9:00 ～ 10:30	・体育の授業づくり①	・現行学習指導要領を踏まえて、良質な体育授業の実現に向けた授業づくりを考える	講義	須甲 理生
	10:40 ～ 12:10	・保健の授業づくり	・現行学習指導要領を踏まえて、良質な保健授業の実現に向けた授業づくりを考える	講義	助友 裕子
	13:10 ～ 14:40	・体づくり運動の指導	・ダンスに活かす体づくり運動の指導	実習	笹本 重子
	14:55 ～ 16:25	・「創作ダンス」の指導	・創作ダンスの楽しい指導	実習	高野美和子
8/4 (金)	9:00 ～ 10:30	・体育の授業づくり②	・各々の所属校における授業についての成果や課題等を学校種別の小グループ毎に討議していく	演習	亀井 良和
	10:50 ～ 12:20	・ダンスへの入り口	・心と身体をほぐすダンスウォーミングアップのいろいろ	実習	松山 善弘
	13:20 ～ 14:50	・「現代的なリズムのダンス」の指導	・簡単な動きからリズムに乗ってオリジナルダンス	実習	石川 浩子
	15:05 ～ 16:35	・ダンス指導のポイントレッスン	・生徒の動きを引き出す「言葉かけ・リズム太鼓・示範」	実習 演習	宮本 乙女

3日目（選択Aまたは選択Bのどちらかを選択）

選択A

	時間	講 習 科 目	具 体 的 内 容	授業 形態	担 当
8 / 5 (土)	9:00 } 10:30	・保健体育の授業に役立つ理論①	・学校現場における救急処置法	講義	夏井 裕明
	10:45 } 12:15	・保健体育の授業に役立つ理論②	・スポーツ史研究からみたオリンピック教育	講義	都筑 真
	13:15 } 14:45	・体育の授業づくり③ ※	・具体的な授業計画に関する事例の検討	講義 演習	須甲 理生
	15:00 } 16:30	・講習のまとめ・修了認定試験 ※	・まとめ（本講習の総括として）	講義 試験	湯澤 芳貴
	16:30 } 16:40	・事後アンケート			

※3・4時間目は選択A・Bクラス共通

選択B

	時間	講 習 科 目	具 体 的 内 容	授業 形態	担 当
8 / 5 (土)	9:00 } 10:30	・「柔道」初めての柔道指導法	・初心者者の指導法と単元の提案	実習 (講義)	宮本 乙女
	10:45 } 12:15	・「柔道」初めての柔道指導法	・初心者者の指導法と単元の提案	実習 (講義)	宮本 乙女
	13:15 } 14:45	・体育の授業づくり③ ※	・具体的な授業計画に関する事例の検討	講義 演習	須甲 理生
	15:00 } 16:30	・講習のまとめ・修了認定試験 ※	・まとめ（本講習の総括として）	講義 試験	湯澤 芳貴
	16:30 } 16:40	・事後アンケート			

※3・4時間目は選択A・Bクラス共通

平成29年度 教員免許状更新講習シラバス

8月3日（木）選択領域

科 目 名	ガイダンス	担 当 者	湯澤 芳貴
科目内容	受講上の注意、評価のポイントなど		
講義概要	(1) 受講上の注意点について (2) 講習全体の評価ポイントについて		

科 目 名	体育の授業づくり①	担 当 者	須甲 理生
科目内容	現行学習指導要領を踏まえて、良質な体育授業の実現に向けた授業づくりを考える		
講義概要	(1) 学習指導要領における保健体育科の基本方針 (2) 学習内容を明確にした教材、教具 (3) 効果的な指導方法 (4) 保健体育科における学習評価		

科 目 名	保健の授業づくり	担 当 者	助友 裕子
科目内容	学習指導要領を踏まえて、良質な保健授業の実現に向けた授業づくりを考える		
講義概要	(1) 現代社会における健康課題と学習指導要領 (2) 事例から学ぶ保健の教材づくり（がんの教育） (3) 事例から学ぶ効果的な指導の工夫（がんの教育） (4) 保健の学習評価		

科 目 名	体づくり運動の指導	担 当 者	笹本 重子
科目内容	ダンスに活かす体づくり運動の指導		
講義概要	(1) 体ほぐしの運動 ○心をほぐすと体がほぐれるからだあそび・・・魔法の手 ○体がほぐれると元気になれる運動あそび・・・氷おに ○からだが嬉しいリズムあそび・・・出会いの体操 (2) 体力を高める運動 ○「巧みさ」をつくる・・・リズムエクササイズ		

科 目 名	「創作ダンス」の指導	担 当 者	高野 美和子
科目内容	創作ダンスの楽しい指導		
講義概要	(1) 課題解決型の学習によって、子供たちに問いかけて引き出す創作ダンスの指導法を紹介します。内容は基本的な課題から進んだ段階の指導法をとりあげます。		

8月4日（金）選択領域

科目名	体育の授業づくり②	担当者	亀井 良和
科目内容	各々の所属校における授業についての成果や課題等を学校種別の小グループ毎に討議していく		
講義概要	保健や体育の授業実践は、学習指導要領に基づきながらも、目の前の生徒の実態に応じて様々な工夫をしていく必要がある。たとえ学校種、学年、取り扱う単元が同じでも、地域や学校環境等の要因によって想定する学習成果、授業計画、指導方法等が異なってくることが予想される。他方で、このような学校による授業の違いを他校、他地域の教員と共有していくことは、授業の力量を高める上でも有意義である。したがって、本講義では、学校種別等の小グループに分かれ、受講者自身の保健や体育の授業の成果、課題等の実態を発表し合う形式で進めていく。具体的には、まず、小グループ内で保健や体育の授業で成果を上げた事例、課題となった授業の事例について、教材の工夫点、指導方法、生徒の反応等の視点から発表し合い、その後、小グループ間での情報交換を行っていく。		

科目名	ダンスへの入り口	担当者	松山 善弘
科目内容	心と身体をほぐすダンスウォーミングアップのいろいろ		
講義概要	(1) 立つ、座る、寝る、歩く、走る等基本的な日常動作を取り入れて身体をほぐしていく。 (2) 2人組になり、お互いの身体を感じながらストレッチを行う。（コンタクト・ワーク） (3) 簡単なエクササイズを行い、ダンスに必要な身体感覚を呼び起こす。		

科目名	「現代的なリズムのダンス」の指導	担当者	石川 浩子
科目内容	簡単な動きからリズムに乗ってオリジナルダンス		
講義概要	ダンスを難しく考えず、リズムを刻む運動と思ってください。簡単な動きを使い、ダンスに見せる方法を指導します。更に、その動き（ダンスに見える）を使い小作品をグループごとに作ってもらい、合評します。		

科目名	ダンス指導のポイントレッスン	担当者	宮本 乙女
科目内容	生徒の動きを引き出す「言葉かけ・リズム太鼓・示範」		
講義概要	(1) 生徒に、問いかけて引き出す事を大事にしたダンスの学習において、どのような教師行動が求められるのか、言葉かけ、リズム太鼓による伴奏、示範の3つについて、演習形式で学ぶ。		

8月5日（土）選択A

科目名	保健体育の授業に役立つ理論①	担当者	夏井 裕明
科目内容	学校現場における救急処置法		
講義概要	学校現場で発生する可能性がある疾病・外傷について、重症度や緊急性の判断、救命・救急処置の手順などを実践的に学ぶ。 (1) 学校で起こりやすい病気・ケガの現状 (2) 学校における救命・救急処置の意義と範囲 (3) 学校における救命・救急処置の基本原則と手順		

科目名	保健体育の授業に役立つ理論②	担当者	都筑 真
科目内容	スポーツ史研究からみたオリンピック教育		
講義概要	(1) 本講義では、オリンピックの歴史を紐解きながら、下記の問いに対する答えを導き出していく。 ○オリンピックはなぜ4年に1度の開催なのか。 ○オリンピックはなぜ始まり、何を目的としていたのか。 ○オリンピックの目的は達成されているのか。 ○達成されていないとしたら、何が問題なのか。		

科目名	体育の授業づくり③	担当者	須甲 理生
科目内容	具体的な授業計画に関する事例の検討		
講義概要	(1) 学習指導要領に基づいて、単元の目標、指導内容、評価規準、評価機会等を意識した単元構造図をグループワークによって作成していく。また、各グループで作成された単元構造図を発表し合い、具体的な事例も踏まえながら受講者全体で議論を展開していく。		

科目名	講習のまとめ・修了認定試験	担当者	湯澤 芳貴
科目内容	まとめ（本講習の総括として）		
講義概要	(1) 本講習のまとめ (2) 修了認定試験 ○各講習内容の理解度 ○実際の授業へのフィードバックについて		

8月5日（土）選択B

科目名	「柔道」初めての柔道指導法	担当者	宮本 乙女
科目内容	初心者の指導法と単元の提案①		
講義概要	(1) 初めて柔道を学ぶ生徒を対象とし、柔道が専門でない体験の少ない教員にも実現可能な単元を提案する。 単元の導入 1) オリエンテーション、授業の目標、礼法、準備運動、補助運動など 2) 固め技の授業展開		

科目名	「柔道」初めての柔道指導法	担当者	宮本 乙女
科目内容	初心者の指導法と単元の提案②		
講義概要	(1) 初めて柔道を学ぶ生徒を対象とし、柔道が専門でない体験の少ない教員にも実現可能な単元を提案する。 単元の中盤 1) 2人組の受け身、大腰、体落としなど。 2) 約束乱取りや得意技発表会など。		

科目名	体育の授業づくり③	担当者	須甲 理生
科目内容	具体的な授業計画に関する事例の検討		
講義概要	(1) 学習指導要領に基づいて、単元の目標、指導内容、評価規準、評価機会等を意識した単元構造図をグループワークによって作成していく。また、各グループで作成された単元構造図を発表し合い、具体的な事例も踏まえながら受講者全体で議論を展開していく。		

科目名	講習のまとめ・修了認定試験	担当者	湯澤 芳貴
科目内容	まとめ（本講習の総括として）		
講義概要	(1) 本講習のまとめ (2) 修了認定試験 ○各講習内容の理解度 ○実際の授業へのフィードバックについて		

8月7日（月）必修領域

科目名	ガイダンス	担当者	青木 純一
科目内容	受講上の注意、評価のポイントなど		
講義概要	(1) 受講上の注意点について (2) 講習全体の評価ポイントについて		

科目名	国の教育政策や世界の教育の動向	担当者	青木 純一
科目内容	(1) 国の教育政策 (2) 世界の教育の動向		
講義概要	(1) とくに21世紀以降の日本の教育改革に絞ってその特徴や課題を語る。 (2) イギリス及びドイツの教員を中心に、その労働の実態を解説する。		

科目名	教員としての子ども観、教育観等についての省察	担当者	山下 敬緯子
科目内容	(1) 子ども観、教育観等についての省察 (2) 教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員に対する社会的要請の強い事柄		
講義概要	(1) 中世以降の子ども観、教育観の変遷について解説する。 (2) 教員に求められる資質能力、服務規律等について現状と課題を語る。		

科目名	子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見 (特別支援教育に関するものを含む。)	担当者	井筒 紫乃
科目内容	(1) 子どもの発達に関する脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容 (2) 特別支援教育に関する新たな課題（LD・ADHD等）		
講義概要	(1) 脳科学、心理学、さらに体育学からのアプローチによって、子どものからだところの発達発達についての知識を深め、理解する。 (2) LD、ADHD、ASDなどの発達障害の特性について理解を深め、教育現場における支援のあり方について検討する。		

科目名	子どもの生活の変化を踏まえた課題	担当者	酒井 久実代
科目内容	(1) 生活習慣の変化を踏まえた生活指導 (2) カウンセリングマインドの必要性		
講義概要	子どもの貧困問題に焦点を当て、子どもへの影響について取り上げ、それに対する教師の働きかけについて考える。 (1) 子どもの自尊感情、自己肯定感、自己有用感を高める働きかけについて取り上げる。 (2) 他者、社会への基本的信頼感を育てるための教師との関係性、仲間との交流におけるカウンセリングマインド、ピアサポートについて取り上げる。		

科目名	修了認定試験	担当者	青木 純一
科目内容	修了認定試験		

8月8日（火）選択必修領域

科目名	ガイダンス	担当者	瀬川 大
科目内容	受講上の注意、評価のポイントなど		
講義概要	(1) 受講上の注意点について (2) 講習全体の評価ポイントについて		

科目名	日本文化を相対化する	担当者	瀬川 大
科目内容	我々が持つ文化・価値観について、道德教育の点から客観視する作業を行い、本日の講習の出発点とする。		
講義概要	異文化について理解していくためには、自文化を絶対視しない、柔軟な姿勢が求められる。本時では日本文化の相対化を、学校教育の中でも価値観の異同が色濃く表れる領域である、道德教育という点から試みてみたい。具体的な素材を用い、受講者と共に検討し、考察していきたい。		

科目名	読書教育で育む国際理解・異文化理解	担当者	稲井 達也
科目内容	読書活動等の読書指導の意義や学校図書館の活用必要性、異文化理解を図るための国際理解教育の現状と課題などについて考える。		
講義概要	2001(平成13)年の子どもの読書活動の推進に関する法律の施行以来、小・中・高校では朝の読書活動、読み聞かせなどの様々な読書活動が浸透してきた。そこで本講義では次期の学習指導要領の改訂を見通し、探究活動に生かす様々な読書活動・読書指導について紹介する。一方、今日、グローバル化が進展する変化の激しい中であって、国際理解教育の重要性が一層高まりつつある。その具体的な指導方法として、学級活動・ホームルーム活動などでの異文化理解における図書活用を紹介し、読書教育や国際理解教育の新たな可能性について検討する。		

科目名	子どもの運動遊びからみる異文化理解	担当者	森田 陽子
科目内容	子どもの運動遊びをキーワードに、日本の子どもたちの運動遊びや欧米・アジアの子どもたちの運動遊びを紹介する。実際にその遊びを体験しつつ異文化理解へと結び付けていく。		
講義概要	「運動遊びとは」について考えながら、子どもにとっての遊びの重要性（特に身体活動を伴った遊び）について理解する。実際に、個人及びグループで日本・欧米・アジアの子どもたちの運動遊び（伝承遊び含む）を体験しながら、同時に運動遊びの持つ教育的意義について考える。それぞれの運動遊びの特徴やねらいを理解し、運動遊びからの異文化理解へと結び付ける。		

科目名	子どもや若者の生活の国際比較	担当者	小堀 哲郎
科目内容	日本の子どもや若者の生活を、欧米やアジアのいくつかの国との比較を行うことによって、その特徴を浮き彫りにする。		
講義概要	日本の子どもたちや若者は、一般的に消極的であったり自己評価が低いと言われている。その実情を理解するために、欧米やアジアのいくつかの国との比較をしながら検討を行いたい。そこから日本の教育に関する現状の評価と今後の課題が見えてくるように進めていきたい。		

科目名	修了認定試験	担当者	瀬川 大
科目内容	修了認定試験		